

気をつけよう！感染症（令和7年第10号）



「結核」を正しく知って予防と早期発見に努めましょう
～9月24日から9月30日は結核・呼吸器感染症予防週間です～

結核は、結核菌という細菌によって、主に肺に炎症が起きる病気です。

【感染経路】

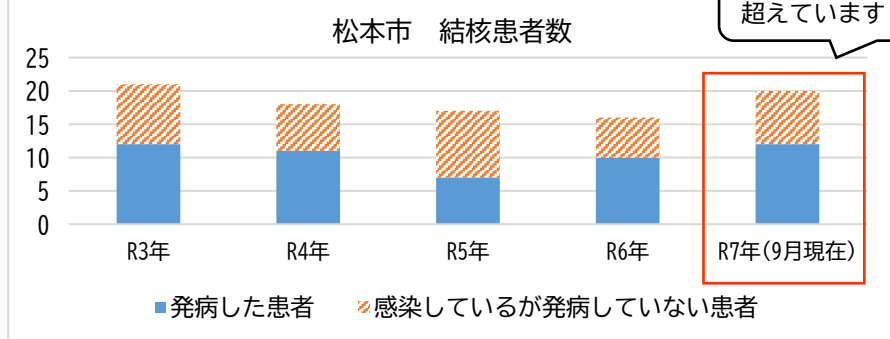
- 結核を発病をしている人の咳やくしゃみなどの「しぶき」には、結核菌が含まれています。その結核菌を周りの人が直接吸い込むことで人から人にうつります（空気感染）。
- 感染してもすべての人が発病するわけではありません。ただし、感染から長い期間を経て、高齢となって発病することもあります。



【症状】

- 長引く咳や痰、その他に微熱・だるさ・食欲不振など風邪のような症状があります（ただし、高齢者は典型的な症状が出ないことがあります）。

【松本市の状況】



- 年代別にみると、75歳以上の患者が多く、若い方は外国出生者の割合が増えています。

【結核の予防・早期発見のためにできること】

① 健康づくり

バランスのとれた食事、十分な睡眠、適度な運動をして、免疫力を高めましょう。結核に感染しても発病を抑えることができます。

② 胸部レントゲン検査

65歳以上の方は「感染症法」で1年に1回の結核健康診断（胸部レントゲン検査）が義務付けられています。異常が見つかったら必ず精密検査も受けましょう。

③ 早期受診

咳や痰が2週間以上続く場合は、必ず受診してください。結核は治療法が確立しているので、早期に発見できれば治る感染症です。

④ ワクチン接種

BCG ワクチンを1歳の誕生日前日までに接種しましょう。（標準的な接種時期は生後5～8か月の間です。）

「結核・呼吸器感染症予防週間」

20世紀以降のパンデミックはすべて呼吸器感染症です。

マスク着用を含む咳エチケット、手洗い、換気等の基本的感染対策を日頃から心がけましょう。

